

決算特別委員会

～特に努力と改善を求めた事項～

人口減少に歯止めを

『地方創生総合戦略策定事業』に関し、人口ビジョンで本市の将来人口の展望を示し、その実現に向けて総合戦略を策定し取り組んでいるが、人口減少に歯止めをかけるには、行政の施策だけではなく、地域住民の取り組みも重要になる。地域別の目標を設定するなど、行政、地域、市民による協働の取り組みにも努めるように。

行政の下請けになつてはならない

『地域おこし協力隊導入事業』に関し、行政の下請けであつてはならず、協力隊の発信力を最大限発揮できるような環境づくりを行い、定住に向けた自立のための支援を行政が行う必要がある。

課題の整理を

『コミュニティ推進事業』に関し、1準備委員会40万円の交付金額だが、委員数や会議の開催回数も違うので、その課題の整理を行うこと。

タブレット利用のあり方を改善

『消防団活動事業』、『消防団訓練事業』に関し、消防団の各種訓練は、各地域で参加率にばらつきがある、訓練は消防団活動の基本である。参加率を上げるように調整し、各分団指導を行うこと。また、火災発生時の迅速な出動と消防水利の確認を併せて指導するように。



環境整備に努めるように

『特別支援教育支援員配置事業』に関し、特別支援が必要な小学生が152人、中学生が104人いるとのことであるが、障害の傾向を把握し、支援員や保護者と協力し、子どもが学習しやすい環境整備に努めるように。

費用対効果の検証と適切な運用を

『ICT教育推進整備事業』に関し、ICT機器を活用した授業は子どもたちの学習意欲を高める効

『度島ふれあいモデル事業』に関し、タブレットを利用した買い物支援などのシステムは導入したが、実際はあまり利用されていない状況であり課題を整理し、運用のあり方を改善すること。

定住相談者の追跡調査を

『定住促進対策事業』に関し、100件の相談件数とのことだが、相談者がその後定住したかどうかなど、十分に確認できていない状況である。追跡調査や実態把握など、事業効果の分析・検証を十分に行うこと。

安全に避難できるような万全に

『原子力災害対策施設整備事業』の大島・度島の屋内避難施設整備に関し、国や県の指示や指導に従うだけでなく、大島、度島の島民が安全に島外に避難できるように関係機関とも十分に調整し、万全を期するように。

実情にそつた基準に見直しを

『安心出産支援事業』に関し、定期健診に係る交通費助成は、自宅の最寄りの施設（本庁、各

果が期待できるが、機器の導入時や更新時には膨大な費用が発生する。期待していたほどの効果は出ていないようだが、費用対効果をしつかりと検証し、学力向上につながるよう、学校生活がより豊かになるよう、適切な運用を心がけること。

地元負担は均衡をい改善を

『自治公民館整備事業』、『地域交流センター管理運営事業』、『ふれあい会館管理運営事業』に関し、市内各地区に整備されている地域交流センターとふれあい会館の管理料や使用料をはじめ、各地区自治公民館の建設補助など地元負担が地区により違つており、均衡がとれていないため、改善の方向で努めるように。

委託先の検討を

『平成27年度平戸市宅地開発事業特別会計決算認定について』は、草刈等をシルバー人材センターに委託しているが、協働のまちづくりの推進を図るために組織された「まちづくり活性化運営協議会」等に委託してはどうか。

総合的な判断を早期に

『平成27年度平戸市電気事業

支所・出張所）から松浦市の病院までの距離で算定しているとの事だが、平成28年1月から同病院は分娩を行なっていない。妊婦にとつて健診と分娩を別の病院で行うのは非常に不安があり、実状にそぐわない基準である。早急に見直しを検討するように。

がん検診受診率の向上を

『がん検診推進事業』に関し、大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の受診率向上対策として、受診料が無料のクーポン券を節目検診の対象者に発行したが、利用率が低いようである。

漂着ゴミを実績払いに

『海岸漂着物地域対策推進事業』に関し、市内30カ所の漂着ゴミの回収を業者等に委託しているが、委託料は、前年度の漂着ゴミ回収量と産業廃棄物処理費用、回収に要する人員の状況等を勘案し、決定しているとのことだが、漂着ゴミの量は毎年違つており、見込みで積算した委託料を支払うのは不適切であると考えられる。実績に応じた委託料を支払うように。

安定運営に心がけるように

『平成27年度平戸市病院事業会計決算認定について』は、平成27年度は手術件数の伸び等に伴う入院収益の増、通所リハビリテーション収益の増などで、1億285万円程度の純利益が出ているが、平成28年度から不採算地区の交付税措置が20%減額される。今後とも運営状況をよく把握し、安定運営に心がけるように。

統一した算定へ是正を行う

『平成27年度平戸市交通船事業会計剰余金の処分及び決算認定について』は、現在運航中のフェリーの不具合や修理状況などを考慮し、次の建造時の参考にすること。大島港と平戸港での切符販売等委託料の算定が違つている、統一した算定に是正するように。

まとめ

平成28年度からの普通交付税の合併算定措置による通減への

戦略性のある維持管理を

『農道等維持管理事業』に関し、観光面など戦略性のある部分は、維持管理の方法を検討すること。

有用性を捉え観光戦略の構築を

各種事業での観光誘客に関し、テレビ等の広告からSNSによる情報発信にシフトしており、サンプリングは、平戸観光応援隊を通じて把握できているとのことだが、今後は効果の有用性を捉え観光戦略の構築に努めること。平戸観光協会に対する業務委託等への支出のあり方は、見直し等改善に努めること。平戸藩の四季めぐり関係イベントへの補助金と地域協働課所管のまちづくり活性化交付金との位置づけ・相互関係の明確化に努めるように。

秩序ある公開維持を

『世界遺産登録推進事業』に関し、世界遺産の構成資産から外れた田平教会であるが、平成27年度は6万人を超え市内の主な観光施設の中で最も来館者があった。28年度も順調に推移しており、教会守の活用など教会の秩序ある公開維持に努めるように。

対応は、より効果的な事業の取捨選択を行うことであると本特別委員会でも指摘した。平成29年度予算編成に当たり、今回指摘を行なった事項について市長をはじめ、理事者（市側）は、十分に検討を行い善処するよう求めた。

今回の本特別委員会審査では、十分な審査準備をして臨んだのかと疑いたくなる場面が各部署で見受けられた。多岐にわたる事業を執行していることはよくわかるが、その事業を行なったのは理事者であり、質問には答えて当然との認識を持つように。決算審査の指摘は次年度以降の事業に反映され、市民の福祉の向上に繋げるとの覚悟を持ち、今後の審査に臨むよう、苦言を呈した。

なお、一般会計決算認定の中で、生涯学習課所管の「生月町B&G海洋センター管理運営事業」および「地域交流センター管理運営事業」について、市民サービスの平準化がされていないとして、少数意見の留保がなされ、本会議で報告された。

(※11ページで用語解説)